

第 1 回 夢洲万博関連事業等推進連絡会議及び同幹事会

令和 4 年 5 月 10 日開催

議事

- (1) 連絡会議及び幹事会の設置
設置要綱を承認し、会議を設置した。
- (2) これまでの夢洲における博覧会関連事業の円滑な実施等に向けた取組み
「夢洲における博覧会関連事業の円滑な実施等に関する連絡会議」のこれまでの取組みについて説明を行った。
- (3) 大阪・関西万博事業の取組みについて
大阪・関西万博の会場整備の取組状況について説明を行った。
- (4) 夢洲における関連事業の工事調整
関連インフラ事業の計画工程及び進捗状況について説明を行った。
- (5) 夢洲における物流交通対策
夢洲における物流車両に関する対策について説明を行った。

主な意見

2023 年 4 月から万博会場の建設工事が本格化するが、万博開幕までに確実に工事を完工することが至上命題であり、関係者が一丸となってあらゆる対策を講じる必要がある。

今後、万博関連事業を安全かつ円滑に進めるためには、現場レベルでの人や資材に関する連絡調整が非常に重要になってくるものと考えている。

本会議を通じて「関連事業の工事調整」「物流交通対策」の円滑な実施に貢献するとともに、現地レベルで開催される会議にも出席させていただいているので、しっかりと調整させていただく。

工事期間中、開催期間中においても、夢洲での人流、物流対策は重要であることから、本日お集りの皆様と連携してしっかりと進めてまいりたい。

工事車両の対策に関連して、現在の通行量のベースになる物流車両の交通対策をしっかりと進めていただきたいと考えている。

大阪市を中心に進めるインフラ整備と、博覧会協会の発注にかかる工事、今後、民間パビリオンや海外パビリオンの工事が着手されていく。

インフラ整備や、博覧会協会の発注工事は、概ね進んでいるが、それらの工事が原因で、万博の開催に支障があってはまずいので、しっかり取組んでほしい。

開催直前になると工事が輻輳し会場内の工事と会場外の工事の調整が多くなると思うが、工事期間中の事故や自然災害への対応を検討していく必要があるので、調整のルール作りなどに取組んでいきたい。

地元の自治体におかれては、国の取組みについてお気づきの点があれば、お寄せいただくようにご案内申しあげる。

現場それぞれの事業主体から、課題やお気づきの点も上がってくると思うが、そういった時は是非、遅滞なくお知らせいただきたい。